



特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

2024 年度事業報告

(2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

2024（令和6）年元日に発生した石川県能登半島における地震は甚大な被害をもたらし、9月には追い打ちをかけるかのように記録的な豪雨が能登を襲った。暮らしを支えていたインフラや家屋が倒壊し、地震から1年以上を経過した今もなお復旧の手がつかない地域も多数ある。8月には宮崎県で震度6弱の揺れを観測した地震があり、これを受けて気象庁は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表した。日本列島全体で、いのちと暮らしを守るための「備え」と「レジリエンス」の強化が求められるなか、ボランティア・市民活動への期待も一層高まった。災害ボランティア活動を後押しする制度や官民協働のしくみづくりが進む一方で、ボランティアの資源化や活動の管理強化への危惧も指摘されている。JVCAでは、復興や支援の主体である市民の力を単なる人手としてではなく、ボランティアならではの強みがその活動を通して発揮できるようなコーディネーションの重要性を発信するとともに、コーディネーションの力を身につけた人材を増やしていくことに尽力した一年であった。

以下、事業計画で重点項目として掲げたポイントについての振り返りと、達成状況を記す。

重点1：ボランティアコーディネーションの普及のための事業拡大

まずは検定の入口である「3級検定」の受験者を拡大し、ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての基本知識を身につけた人たちを増やすことに力を入れた。新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、3級検定は2020年度から講義を動画で視聴する方法を研修の選択肢として導入。このオンデマンド視聴の形式は拘束時間や経費を節約できるメリットや学習方法の好みなどから、対面が可能になった現在でも受験者の半数程度がこちらの方法を希望している。そのため、東京・大阪では研修受講について会場かオンデマンド視聴かを選択する方式をとり、これに加え、試験のみを会場で受験する栃木・岐阜・滋賀・仙台・山口の開催を実現した。また、初の試みとして平日の夜間帯に試験のみを実施したところ一定の参加者を得ることが出来た。検定の普及と受験者の拡大策としては、全国的なパンフレットの配布とSNSなどでの告知に加え、PR動画「私たちがボランティアコーディネーション検定を推す理由」を制作し、その魅力を発信した。

3級検定（主催）の開催地および実施回数の拡大を図ることはできたが、年間受験者数は276人とどまり、目標に対する達成率は88.7%であった。また、共催検定による受験者数は114人、開催目標の6か所に対し4か所、新規の開催地はゼロという結果になり、あらたなパートナー団体を開拓することが次年度への課題となった。

重点 2：ボランティアコーディネーション力を高めるための多様な学びの場の拡大

2024 年度は年間を通してコンスタントに研修を実施することをめざし、ボランティアコーディネーター基礎研修を 2 回、具体的なコーディネーション力を高める実務研修を 8 回開催することを目標にした。前者については 6 月にオンラインで、9 月には大阪において集合型により開催。後者については 6 月から 10 月までに月 1 回のペースで 5 回のオンライン研修を開催した。プログラムは研修開発委員会を中心に検討し、前年度開催のものをバージョンアップしたり、テーマに詳しい会員の協力を得て、企画運営にあたるチームを作り、プログラムを開発して、実施した。11 月以降は他の事業との兼ね合いで実施に至らず、目標回数に到達しなかったが、内容としては次年度につながる研修の形ができあがった。

また、2023 年から取り組んでいる 1、2 級検定合格者を対象にした「事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会」を 2 回開催し、1 級合格者から提供された実践をもとに、事例検討を通じたボランティアコーディネーションのポイントを学ぶ機会を提供できた。

重点 3：多様な領域で活動するコーディネーターのネットワークの構築

オンラインが日常生活や仕事を進める上でのコミュニケーション手段として定着したことで、打ち合わせや会議、研修などの多くはオンラインで開かれるようになった。JVCA の研修および各種のミーティングもオンライン中心の開催形態への変化し、集合型では見られなかった広範な地域から参加を得ることが出来ている。テーマ型のサロンを開催できたのもオンラインの効用の一つとあってよい。一方、会場に集まることによる出会いや対話、飲食を伴う懇親の場などが減少したことにより、コミュニケーションの深度や雑談的な会話や体験の共有から生まれる刺激や満足感は弱まった。そのため、研究集会に会場開催の分科会を増やしたり、交流会を実施したり、研究集会の実行委員会や運営委員会においても同様にハイブリッドで実施する回を設け、徐々にではあるが「リアル」に会う場面を意識的に増やしてきた。ここ数年の試行錯誤を経て、つながりやネットワークを作るという目的のためには、対面方式が有効であることをあらためて認識した。今後も事業の目的・目標に合う開催形式を精査し、必要に応じて対面型のプログラムを強化する方向である。

基盤づくり

前年末から始まった第 5 期中期ビジョンについては、タスクチームが作成した素案をもとに、理事・運営委員との協議を経て、草案が完成した（通常総会議案として上程）。策定にあたっては、既存の社会調査や提言などを読み込んだり、会員へのアンケート調査を実施したり、外部団体へのヒアリングを行うなど、時代の変化をふまえて JVCA が何をすべきなのかを絞り込んでいった。

また、2024 年度は 236 万円の赤字予算で始まった財政的に厳しい年であった。事業開発につながる調査研究で助成金を申請したが不採択。事務局職員に欠員時期があり、赤字額は 150 万円ほど改善しての決算となったが、会費や事業収益面での落ち込みは看過できない事態である。



1 事業の推進

(1) 多様なコーディネーション実践に携わる人たちを対象とする全国集会の開催

(事業費：1,736 千円／従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア 39 人)

①「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 2024」の開催と評価

前年の6月に組織化した実行委員会が主体となり、飯田橋セントラルプラザ（東京）を主会場に標題の集会をハイブリッドにて開催した。オープニングセッションは事前収録した動画をオンデマンド視聴いただくこととともに、当日の午前中にパブリックビューイング方式で会場で一緒に視聴できる方法をとった。分科会は会場のみ、ハイブリッド、オンラインと多様な開催形態を取り、それぞれの良さを活かす運営を心掛けた。

テーマ： 違いをチカラに、多様性を地域のあたり前に

～あつまれ！つながれ！課題に向き合うコーディネーター～

期 日：2024 年 2 月 23 日（金・祝）～24 日（土） 参加者：193 人 ※申込者

登壇者（延べ）：60 人 分科会協力者：7 人 実行委員：38 人

<実行委員名簿>

NO	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
事務局	
事務局	
事務局	
サポート	

<実行委員会開催状況>

回	開催日	形態	人数
第 10 回	1 月 14 日（日）	オンライン	24 人
第 11 回	2 月 4 日（日）	オンライン	31 人
第 12 回	3 月 31 日（日）	オンライン	26 人

②「市民の参加と協働を進めるコーディネーション研究集会 2025」の企画

2025 年 2 月 22 日（土）-23 日（日祝）に開催することを決定した。5 月の準備会において実行委員の人選を行い、6 月に第 1 回実行委員会（オリエンテーション）を実施した。委員会では [REDACTED] を委員長に互選。月 1 回程度の委員会において集会のテーマや骨子、開催内容について協議し、12 月上旬に参加者の募集を開始した。

<実行委員名簿>

NO	
1	
2	
3	
4	
5	

6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
事務局	

<実行委員会開催状況>

回	開催日	形態	人数
準備会	5月12日(土)	オンライン	—
準備会	5月21日(火)	オンライン	—
事務局チームミーティング①	6月10日(月)	オンライン	—
第1回	6月17日(月)	オンライン	39人
事務局チームミーティング②	6月24日(月)	オンライン	—
第2回	7月7日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	26人
事務局チームミーティング③	7月15日(月祝)	オンライン	—
第3回	8月3日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	30人
事務局チームミーティング④	8月15日(木)	オンライン	—
第4回	9月9日(月)	オンライン	31人
事務局チームミーティング⑤	9月20日(金)	オンライン	—
第5回	10月5日(土)	龍谷大学深草キャンパス (ハイブリッド)	31人
事務局チームミーティング⑥	10月17日(木)	オンライン	—
第6回	10月22日(火)	オンライン	35人
事務局チームミーティング⑦	10月28日(月)	オンライン	—
第7回	11月2日(土)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	30人
第8回	11月7日(木)	オンライン	23人
事務局チームミーティング⑧	11月18日(月)	オンライン	—
第9回	11月26日(火)	オンライン	25人
事務局チームミーティング⑨	11月28日(木)	オンライン	—
第10回	12月8日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス (ハイブリッド)	28人

←実行委員会は
ハイブリッドで

12月からは→
SNSでも
PR大作戦

(2) 研修の開催および研修企画の支援

(事業費：3,316 千円／従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア44人)

- ①ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 (オンライン)
- ②ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 (東京・大阪・福岡)
- ③ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の開催
- ④ボランティアコーディネーションカ3級検定直前研修の共催

→※①～④は(3)で報告する

- ⑤初任者向け：ボランティアコーディネーター基礎研修

(計画2回：東京・大阪 / 実施2回：オンライン・大阪会場)

No	研修名	開催日	人数
1	新任ボランティアコーディネーター基礎研修	6月25日(火)	54人
2	第1回：オンライン 第2回：市民活動スクエア@大阪 共催：大阪ボランティア協会	10月29日(火)	34人

- ・初任者向けe動画講義(富士通ラーニングメディアとの提携)の普及

科目：ボランティアコーディネートを学ぶ1～ボランティアとコーディネートの理解 40件

ボランティアコーディネートを学ぶ2～ボランティア受け入れのマネジメント 30件

- ⑥人と組織のコーディネーションカアップ研修・講座

- ・実務研修「コーディネーションの知識とスキルを高める」の開催

(計画8回／実施5回：オンライン)

回	研修名	開催日	人数
第1回	地域と大学生・若者がともに輝くコーディネーション①	6月19日(水)	16人
第2回	地域と大学生・若者がともに輝くコーディネーション②	7月24日(水)	17人
第3回	“高齢化”をポジティブワードに変える！	8月29日(木)	17人
第4回	地域のなかの多文化共生と活動のコーディネーションⅠ まず知ろう！～外国人住民との協働に向けて～	9月27日(金)	16人

第5回	地域のなかの多文化共生と活動のコーディネーションⅡ 進めよう～！外国人とつくる地域防災	10月11日 (金)		16人
-----	--	---------------	--	-----

・キラリ☆と光る実践に学ぶセミナーの開催（計画2回／実施1回：オンライン）

タスクチームメンバー

回	セミナー名	開催日		人数
第1回	「襟裳（えりも）には本当に“何も無い”のか？」 ～障害当事者の参加や支え合いを促進するコーディネーションの実践から～	12月 5日（木）		21人

<チーム会議>

回	開催日	形態
第1回	5月 1日（水）	オンライン
第2回	5月15日（水）	オンライン
第3回	6月 3日（月）	オンライン
第4回	9月11日（水）	オンライン
第5回	11月25日（月）	オンライン

⑦大学ボランティアセンター職員セミナー2024 の開催

（計画 基礎1回：実践1回：オンライン／実施 基礎1回：実践1回）

テーマ： なぜ「共に」？どう「共に」を創るか？

No	内容	開催日		人数
1	基礎セミナー	9月12日（木）		26人
2	実践セミナー <全体会・分科会>	9月13日（金）		39人

<実行委員名簿>

◎委員長

NO	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

<委員会開催実績>

回	開催日	形態
第1回	3月21日(木)	オンライン
第2回	4月28日(日)	オンライン
第3回	5月20日(月)	オンライン
第4回	7月1日(月)	オンライン
第5回	9月3日(火)	オンライン
第6回	9月25日(水)	オンライン

⑧研修への講師派遣と講座等の企画支援

- ・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、JVCAの理事・運営委員等を派遣した。

派遣 72 件 研修日数 82 日 / 派遣講師 15 人 (実人数)

- ・講師派遣先を開拓するために講師派遣事業についての案内チラシを関係機関に送付した。(検定周知の際に同封)。

⑨団体の職員研修(パッケージ型)の提供

→3つの標準メニューを例示し、会員およびWEBサイトで公開した。

⑩ボランティアコーディネーターに役立つ動画の企画と作成、配信

→動画作成チームにより、新任ボランティアコーディネーターを主たるターゲットに、ボランティアについての理解を深める動画を3本作成し、4月中旬よりWEBサイト(youtube)で配信した。

① ボランティアの語源とキー概念 614 回視聴

② 無償性と無償の積極的な意味 330 回視聴

③ ボランティアの社会的意味と強み弱み 345 回視聴

<動画作成チーム> →5月に解散

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	1月9日(火)	オンライン
第2回	2月13日(火)	オンライン
第3回	4月10日(水)	オンライン

⑪事例から深める！ボランティアコーディネーション研究会 開催

1, 2級合格者の実践力向上のために、合格者に呼びかけ、ボランティアコーディネーションの視点とポイントを深める事例研究会を実施した。1級検定試験委員の が進行兼コメンテーターとなり、各回、1級合格者が取り組んだ事例をもとに検討会を実施した。

回	開催日	形態
第1回	10月29日(火)	オンライン
第2回	12月3日(火)	オンライン

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

(事業費：6,477千円/従事者数：有給スタッフ3人・ボランティア55人)

①ボランティアコーディネーション力1級検定試験の実施(計画1回/実施1回)

第1回(通算第12回)ボランティアコーディネーション力1級検定の直前研修および試験を事前動画視聴とオンラインを組み合わせ実施した。

開催地・会場	開催日	受験者
直前研修：講義 (動画視聴)	7月31日(水)～ ※オンデマンド	10人
直前研修：演習 (オンライン)	8月24日(土) 8月25日(日)	10人
検定試験/評価 (オンライン・ WEBフォーム)	9月15日(日)	9人

<第1回(通算第11回) 1級検定 試験結果>

受験者数	9人	合格者数	6人	合格率	66.7%
------	----	------	----	-----	-------

②ボランティアコーディネーション力2級検定試験の実施

(計画2回・2か所/実施2回・2か所)

開催地・会場	開催日		受験者
<第1回> 通算28回 大阪会場： 大阪府社会福祉会館	講義動画視聴 10月13日(日)～		15人
	直前研修 & 検定試験 10月27日(日)		
<第2回> 通算29回	講義動画視聴 11月3日(日)～		37人
東京会場： 大学生協杉並会館	直前研修 & 検定試験 11月17日(日)		24人
福岡会場： 大野城市 総合福祉センター	直前研修 & 検定試験 11月17日(日)		14人

<第1・2回 2級検定 試験結果>

	大阪	東京	福岡	合計
受験者数	15人	24人	14人	53人
合格者数	11人	20人	12人	43人
合格率	73.3%	83.3%	85.7%	81.1%

④ 3級検定試験(主催)の実施 (計画3回/実施4回)

第1回(通算38回)：

開催地・会場	開催日		受験者
東京会場：飯田橋セントラルプラザ <後援：東京ボランティア・市民活動センター>	7月6日 (土) 直前研修 検定試験	※オンデマンド 研修録画視聴者含む	52人
大阪会場：大阪府社会福祉会館 <研修共催：大阪ボランティア協会>			37人
		※オンデマンド 研修録画視聴者含む	

栃木会場：小山市市民活動センター（おやまーる） ＜協力：小山市市民活動センター＞		オンデマンド 研修録画視聴	16 人
---	--	------------------	------

第 2 回（通算 39 回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
東京会場：東京ボランティア・市民活動センター	8 月 27 日 (火) 検定試験	オンデマンド 研修録画視聴	38 人
岐阜会場：じゅうろくプラザ			16 人
滋賀会場：キラリエ草津			9 人
大阪会場：CANVAS 谷町			19 人

第 3 回（通算 40 回）：

開催地・会場	開催日		受験者
東京会場：飯田橋セントラルプラザ ＜後援：東京ボランティア・市民活動センター＞	12 月 1 日 (日) 直前研修 検定試験		41 人
		※オンデマンド研修視聴・ 検定試験のみを含む	
大阪会場：大阪府社会福祉会館 ＜研修共催：大阪ボランティア協会＞			38 人
		※オンデマンド研修視聴・ 検定試験のみを含む	
仙台会場：仙台市戦災復興記念館		オンデマンド 研修視聴	3 人

第 4 回（通算 41 回）：

開催地・会場	開催日	直前研修講師	受験者
山口会場：しゅうなん市民活動支援センター ＜協力：NPO 法人市民プロデュース しゅうなん市民活動支援センター＞	12 月 7 日 (土) 直前研修 検定試験	オンデマンド 研修視聴	7 人

＜試験結果＞

	第 1 回			第 2 回			
	東京	大阪	栃木	東京	岐阜	滋賀	大阪
受験者数	52 人	37 人	16 人	38 人	16 人	9 人	19 人
合格者数	47 人	34 人	15 人	36 人	15 人	8 人	17 人
合格率	90.4%	91.0%	93.8%	94.7%	93.8%	88.9%	89.5%

	第3回			第4回	合計
	東京	大阪	仙台	山口	
受験者数	41人	38人	3人	7人	276人
合格者数	37人	36人	2人	7人	254人
合格率	90.2%	94.7%	66.7%	100.0%	92.0%

共催検定（計画6回／実施6回） ※その他（研修共催のみ）1回

共催団体	開催日	
① 東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター	7月6日（土）	
② 東北公益文科大学	9月1日（日）	
③ 長野県社会福祉協議会	11月19日（火）	
④ 龍谷大学	12月7日（土）	

<試験結果>

	①	②	③	④	合計
受験者数	34人	24人	22人	34人	114人
合格者数	33人	18人	18人	29人	98人
合格率	97.1%	75.0%	81.8%	85.3%	86.0%

●その他：直前研修のみ共催

共催団体	開催日		受講者
いずみ市民大学 (特定非営利活動法人 SEIN)	10月12日（土）		12人 うち9人受験
	10月26日（土）		
	11月2日（土）		
	11月23日（土）		

3級検定の直前研修風景
(東京会場) →

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

試験委員会を設置し、各級ごとにチームミーティングを開催し、試験問題を作成した。

<委員名簿>

◎委員長 ☆各級チームリーダー

No	
◎ 1	
☆ 2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
☆10	
11	
☆12	
13	
14	
15	
16	

各級（1級・2級・3級）ごとのチームミーティングの開催

<1級検定チーム>

回	開催日	形 態	参加人数
事例問題作成	8月 1日（木）	オンライン	3人
第1回	9月19日（木）	オンライン	5人

<2級検定チーム>

回	開催日	形 態	参加人数
第1回	2月28日（水）	オンライン	4人
第2回	5月 8日（水）	オンライン	5人
第3回	7月 7日（日）	オンライン	4人
第4回	8月11日（日）	オンライン	5人
第5回	9月16日（月・祝）	オンライン	4人
第6回	10月1日（火）	オンライン	4人

<3級検定チーム>

回	開催日	形 態	参加人数
第1回	4月27日（土）	JVCA 事務所	5人
第2回	7月13日（土）	JVCA 事務所	4人
採点	9月10日（火）	JVCA 事務所	3人

第 3 回	9 月 24 日 (火)	JVCA 事務所	5 人
採点	11 月 27 日 (水)	JVCA 事務所	2 人
採点	12 月 12 日 (木)	JVCA 事務所	2 人

⑥ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

前年度の 1、2 級直前研修の振り返りを行い、本年度の研修プログラムやテキストの改訂について協議した。また、3 級検定公式テキストの改訂および動画の再収録を行った。

<委員名簿>

No	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

・検定研修委員会の開催実績

回	開催日	形態	参加人数
第 1 回	5 月 27 日 (月)	オンライン	5 人

⑦ボランティアコーディネーション力検定 2・3 級直前研修講師養成

2 級検定直前研修において新たに 3 人が講師を務めた。

⑧検定合格者（3 級・2 級）に対する上級検定情報の提供

登録アドレスにダイレクトメールで案内した。

⑨1, 2 級検定合格を祝う会

検定プロモーションプロジェクトチームが主催して、1 月 19 日の夜に、前年度の 1 級及び 2 級合格者に呼びかけてお祝いをする会をオンラインで実施した。参加者は 8 人（申込は 11 人）とチームメンバー。

（４）情報の収集及び提供活動の推進

（事業費：576 千円／従事者数：有給スタッフ 3 人・ボランティア 5 人）

①メールマガジンの発行（月 1 回程度）

→JVCA めるまが Co★Co★Net 第 203 号～第 207 号の発信

②JVCA 公式 Facebook の運営 →適宜、委員会や事業案内などの記事を発信した。

③JVCA の YouTube 公式チャンネルの運営 →（７）⑥で報告

④JVCA 紹介チラシの作成、配付

→JVCA の団体紹介チラシを作成し、会場で開催する研修先では参加者に配付し、オンライン研修ではデータをチャットに貼り付ける形で配付した。

⑤WEB サイトの情報更新 →適宜、情報発信およびメンテナンスを行った。

⑥ボランティアコーディネーションに関する図書・文献情報の収集

→『ボランティア活動の責任』 (共栄書房)

『ボランティア論』 (大学図書出版)

『研究編 究める！福祉教育・ボランティア学習の課題』／『実践編 拡がる！ふくしの学び』編集：日本福祉教育・ボランティア学習学会 30 周年記念出版編集委員会 (大学図書出版)

⑦令和 6 年度能登半島地震の発生をうけて、Web サイトにお見舞いのメッセージとともに、ボランティアの呼びかけや調整、後方支援などにあたる方々に向けて、あらためて「災害ボランティアコーディネーションにたずさわる皆さまへ」を紹介し、災害支援においてボランティアコーディネーションを進めるポイントを発信した。

(5) 広報紙および出版物の発行

(事業費：1,265 千円／従事者数：有給スタッフ 3 人・ボランティア 7 人)

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 (計画：3 回／発行：3 回) 部数：400 部

第 71 号 (4 月 8 日) 特集：“言葉”からボランティア活動の価値を考える

第 72 号 (8 月 30 日) 特集：ボランティアについて学ぶ“職場研修”のすすめ

第 73 号 (12 月 15 日) 特集：地域のなかの多文化共生を進めるために

②ボランティアコーディネーションカ 1 級検定テキストの発行 20 部

③ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキストの発行 80 部

④『ボランティアコーディネーションカー市民の社会参加を支えるチカラ (第 3 版)』(発行：中央法規) の改訂

(6) 調査・研究事業の実施

(事業費：223 千円／従事者数：有給スタッフ 2 人・ボランティア 21 人)

①「グッドプラクティス認定システム化委員会」の運営および実践事例の募集

・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	
1	
2	
3	
4	

・委員会の開催

回	開催日	形態	参加人数
第1回	5月10日（金）	オンライン	4人

→事例は常時募集をしているが、1件の応募（キラリ部門）があった。

②マスコミ向けパンフレットの作成

ボランティア報道アクションチームにより、報道関係者向けにパンフレットの作成に取り組んだ。ボランティアに関連する言葉や表現についての違和感について会員等を対象にアンケート調査を実施し、結果を「この表現ってどうなの？言葉をめぐるモヤモヤの正体は?!」としてまとめ、Webサイトでも掲載した。

＜ボランティア報道アクションチーム＞

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	1月12日（金）	オンライン
第2回	1月25日（木）	オンライン
第3回	2月9日（金）	オンライン
第4回	2月18日（日）	オンライン
第5回	4月17日（水）	オンライン
第6回	5月2日（木）	オンライン
第7回	6月1日（土）	オンライン
第8回	6月9日（日）	オンライン
第9回	7月1日（月）	オンライン
第10回	7月22日（月）	オンライン
第11回	8月28日（水）	オンライン
第12回	9月12日（木）	オンライン

③地域自治組織の再構築へのボランティアコーディネーション力活用のスキームを
考える調査研究事業

標記の調査研究について協議を進めてきた。協議の結果、まずは丸紅基金の社会福祉助成金を申請してみることにになり、「瀕死の地縁組織を活性化するための先進事例調査」として6月28日に申請をしたが、採択されなかった。

＜助成金申請タスクチーム＞

・タスクチームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	4月16日(火)	オンライン
第2回	5月12日(日)	オンライン
第3回	5月29日(水)	オンライン
第4回	6月12日(水)	オンライン
第5回	12月24日(火)	オンライン

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

(事業費：279千円／従事者数：有給スタッフ2人・ボランティア23人)

① CoCoサロンの開催・運営支援

地域プロモーション委員会を中心に CoCo サロンの立ち上げおよび運営を支援。

・CoCoサロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月26日(金)	CoCo サロン 四国	オンライン	9人	会員以外の参加も得て、災害を交流のキーテーマとして各団体の取り組みを紹介し合った。
2	1月31日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所 ハイブリッド	5人	福祉施設やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話による学びの場とした。
3	3月27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所ハイブリッド	2人	参加者のドタキャンが続き、結果的に今後の運営方法について意見交換することになった。
4	4月7日 (日)	CoCo サロン 関西・北陸	オンライン	11人	JVCC2024に参加しての感想やプログラムの内容を共有し、振り返りを行った。
5	5月29日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	生き方のデザイン研究所ハイブリッド	7人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
6	7月31日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	8人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
7	8月25日 (日)	CoCo サロン 庄内	楽家	6人	██████を招いて、西川さんとあそぼう！～おいしくたのしい夏の交流の場を開いた。
8	8月27日 (火)	防災×ボランティア×コーディネーション情報交換会	オンライン	11人	██████を招いて、防災とボランティア、コーディネーションについて語り合った。

9	9月25日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	5人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
10	11月27日 (水)	CoCo サロン 北九州 Link 福祉施設	オンライン	5人	地域福祉やボランティアをキーワードに、ざっくばらんな情報交換、対話の場とした。
11	12月4日 (水)	CoCo サロン 東北	オンライン	10人	を招いて、若者が活躍する場づくりについての事例をもとに考えた。

・オンラインサロン (WEB 委員会)

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月10日 (水)	いまさら聞けないーオンラインツールサロン	オンライン	5人	広報やコミュニケーションのために使っている IT ツールを題材に、ざっくばらんに意見交換、情報交換を行った。

・動画サロン (地域プロモーション委員会)

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	12月28日・29日・30日 (土・日・月)	動画サロン	オンライン	延べ 12人	スマホで動画編集ができるアプリ VLLO を使って、動画を繋いだり、カットしたり、文字や BGM を入れたり、と操作の基本を学んだ。

②国内外の関係団体との連携

国内外の関係団体とボランティアコーディネーションの普及促進に関連する事業に後援ならびに協力し、連携を深めた。

＜委嘱・協力＞

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加
(幹事会／ボランティア全国フォーラムの企画)
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN) への参加
- ・東京都中央区地域振興課：中央区協働推進会議 委員
- ・全国社会福祉協議会：全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会 委員
- ・災害ボランティア活動支援プロジェクト会議 (支援 P) 委員
- ・シャプラニール＝市民による海外協力の会：評議員
- ・東京ボランティア・市民活動センター：中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
- ・東京都立川市市民生活部：立川市協働まちづくり推進事業 審査委員
- ・2025 国際協同組合年 (IYC) 全国実行委員会 委員

<後援>

・第 59 回公益財団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第 23 回日本精神保健福祉士学会学術集会（事務局：日本精神保健福祉士協会）

・「ファンドレイジング・日本（FRJ）2025（日本ファンドレイジング協会）

③会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進

会員メーリングリストを通して会員間のコミュニケーション 利用件数 112 件

④会員限定 Facebook グループ「集まれ！ボランティアコーディネーター」の活用

WEB 委員会により、コーディネーター同士の気軽に自由な情報交換の場としてコーディネーションに関連する企画や研修情報を発信したり、各自の投稿を促した。

⑤動画「旅する JVCA」を作成し、YouTube の JVCA 公式チャンネルで発信

4 本の動画を作成し、「旅する JVCA」として配信した。

第 9 回 [REDACTED]（東京ボランティア・市民活動センター編）

第 10 回 [REDACTED]

第 11 回 [REDACTED]

第 12 回 [REDACTED]



2 組織運営と財政

(1) 通常総会

開催日時 3月3日(日) 10時00分～12時10分
 場 所 オンライン会議 (Zoom を利用)
 出席者数 218 人 (議場出席 50 人、書面表決 71 人、委任状提出 97 人)
 審議事項 第1号議案 2023 年度事業報告ならびに決算案について
 第2号議案 2024 年度事業計画ならびに予算案について
 第3号議案 第13 期役員体制について

総会は成立し、すべての議案が承認された。

(2) 監事監査の実施

2023 年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日 時 1月29日(月)
 場 所 JVCA 事務所
 出 席 XXXXXXXXXX

(3) 理事会

・理事会の開催 計画：4回 (1月、4月、7月、12月) / 実施2回

回	開催日	会場	出席	審議事項
第86回	2月12日 (月)	オンライン	13人	第1号議案 2023年度事業報告と決算案について/第2号議案 2024年度事業計画(修正)および予算案について/第3号議案 第13期役員体制について/第4号議案 2024年度運営委員選考委員の選任について
第87回	4月3日 (水)	オンライン	15人	第1号議案 正副代表理事の互選について/第2号議案 各種担当理事の選任について
第88回	7月9日 (火)	オンライン	15人	第1号議案 2024年度上半期事業執行状況(事業計画・予算)について/第2号議案 第5期中期ビジョン<目次1～3>について
第89回	12月17日 (火)	オンライン	13人	第1号議案 『ボランティア報道ガイドライン(奉仕・慰問編)』案について/第2号議案 第5期中期ビジョン<第一次案>について/第3号議案 2025年度事業計画・暫定予算案について/第4号議案 2025年度 検定試験委員の選任について

(3) - 2 理事候補者選任選挙および開票

・ 第 13 期（2024.4.1－2026.3.31）理事候補者選任のための選挙（インターネット）

選挙期間：1月6日（土）～1月18日（木）

選挙人総数：293 人（被選挙人数：264 人） 投票者数：94 人 投票率：32.1%

・ 開票作業 1月18日（木） @オンライン

選挙管理委員

(3) - 3 第 13 期役員候補者推薦委員会の開催

1月30日（火）に理事候補者選任選挙において選ばれた理事8人をメンバーとした委員会を開催し、残り7人の理事および監事の候補者を選任した。

(3) - 4 第 13 期役員を選任

第 13 期 役員名簿

任期：2024.4.1～2026.3.31

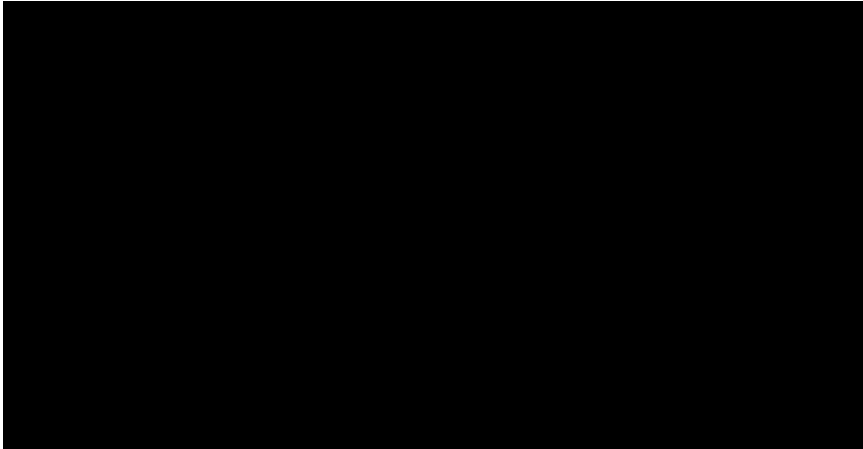
代表理事	
副代表理事	
副代表理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
理事	
監事	
監事	

(4) 理事・運営委員合同合宿（ハイブリッド形式）

7月27・28（土・日）にウスタリアンライフクラブ宇佐美（静岡県伊東市）を会場にZoomを併用してハイブリッドで開催した。

参加者で記念撮影→

※オンライン参加者は
中央のスクリーンに



(5) 委員会

①運営委員会（計画：月1回 全12回／実施：6回）

4月に新体制となり、オンラインと集合形式を組み合わせで実施した。 正副代表理事は互選により全員継続の体制となった。

2024 年度運営委員体制（2024.4～2025.3）

◎委員長 ○副委員長

NO	
1	
2	
3	
4	
○5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	

19	
20	
21	
○22	
23	
24	
◎25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	

・運営委員選考委員会

2月に正会員に公募した2024年度の運営委員募集については37人からの応募があり、委員会において選考を行い、全員応募条件を満たしていることを確認し、代表理事に推薦した。任期は4月1日～翌年の3月30日である。

日 時 2024年3月14日（木）

場 所 オンライン

メンバー

・運営委員会（月1回）の開催実績

回	開催日	会場	人数
第1回	1月21日（日）	オンライン（龍谷大学大阪梅田キャンパス+飯田橋セントラルプラザ）	25人
第2回	2月18日（日）	オンライン（東京ボランティア・市民活動センター）	24人
第3回	3月23日（土）	オンライン（龍谷大学大阪梅田キャンパス+飯田橋セントラルプラザ）	30人
第4回	4月13日（土）	オンライン（龍谷大学大阪梅田キャンパス）	30人
第5回	5月19日（日）	オンライン（龍谷大学大阪梅田キャンパス）	26人
第6回	6月23日（日）	飯田橋セントラルプラザ+オンライン	30人

第7回	7月28日(日)	ウイスタリアンライフクラブ宇佐美(合宿) +オンライン	20人 +理事6人
第8回	8月18日(日)	オンライン	29人
第9回	9月21日(土)	オンライン(龍谷大学大阪梅田キャンパス+ 東京ボランティア・市民活動センター)	23人
第10回	11月9日(土)	オンライン	26人
第11回	11月30日(土)	オンライン+東京会場	25人
第12回	12月15日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス+オンライン	23人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、会員の参加で以下の委員会を推進した。

i) 研修開発委員会

本年度の実務者研修のテーマ決めとそれぞれのプログラム作成と運営を行った。

回	開催日	会場
第1回	3月17日(日)	オンライン
第2回	4月18日(木)	オンライン
第3回	6月15日(土)	オンライン

ii) 研究集会企画委員会

回	開催日	会場
第1回	10月23日(水)	オンライン
第2回	12月18日(水)	オンライン

iii) 財政委員会

2023年度本予算および2024年度暫定予算案の作成と財源確保について協議し、調査研究事業での助成金申請の対策を協議した。助成金申請に関してはタスクチーム結成までを牽引した。

回	開催日	会場
第1回	1月30日(火)	オンライン
第2回	9月21日(土)	オンライン
第3回	11月8日(金)	オンライン
第4回	11月22日(金)	オンライン

iv) WEB 委員会

JVCA 公式 Facebook の運営、Facebook グループへの発信・管理。あらためて WEB 委員会のタスクについても確認した。

回	開催日	会場
第1回	1月5日(金)	オンライン
第2回	7月3日(水)	オンライン
第3回	8月2日(金)	オンライン
第4回	9月4日(水)	オンライン

v) 地域プロモーション委員会

CoCo サロン開催の呼びかけ、旅する JVCA（会員会談動画）の作成など、役割を分担して進捗状況を確認しながら進めた。また、動画はハードルが高いという方もいることを想定して、音声のみ（ラジオ番組風）のコンテンツ“耳だけ JVCA”を試行した。

回	開催日	会場
第1回	1月20日(土)	オンライン
第2回	2月14日(水)	オンライン
第3回	3月23日(土)	オンライン
第4回	4月13日(土)	オンライン
第5回	5月19日(日)	オンライン
第6回	6月23日(日)	オンライン
第7回	7月10日(水)	オンライン
第8回	8月18日(日)	オンライン
第9回	9月21日(土)	オンライン
第10回	11月9日(土)	オンライン
第11回	11月20日(水)	オンライン
第12回	12月15日(日)	オンライン

③専門委員会の設置、運営

- i) ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 →事業の推進(3)で
- ii) ボランティアコーディネーション力検定研修委員会 →事業の推進(3)で
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会 →事業の推進(6)で

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

検定プロモーションプロジェクトチーム（継続）

・チームミーティング実績

回	開催日	形態
第1回	3月23日（土）	オンライン
第2回	4月13日（土）	オンライン
第3回	6月23日（日）	オンライン
第4回	8月18日（日）	オンライン
第5回	11月9日（土）	オンライン
第6回	12月24日（火）	オンライン

⑤第5期中期ビジョン策定タスクチーム

2025～2029の5年間の次期ビジョンの策定に着手し、理事・運営委員合同合宿および運営委員会での協議を経て、12月の理事会に第一次案を上程した。

<チームメンバー>

No	
1	
2	
3	
4	
5	

・チームミーティング実績

回	通算	開催日	形態
第1回	第7回	2月8日（木）	オンライン
第2回	第8回	2月16日（金）	オンライン
第3回	第9回	3月12日（火）	オンライン
第4回	第10回	4月5日（金）	オンライン
第5回	第11回	5月12日（日）	オンライン
第6回	第12回	6月13日（木）	オンライン
共有会議（理事・運営委員）		6月18日（火）	オンライン
第7回	第13回	6月25日（火）	オンライン
第8回	第14回	7月14日（日）	オンライン
第9回	第15回	7月22日（月）	オンライン
第10回	第16回	8月16日（金）	オンライン
第11回	第17回	8月22日（木）	オンライン

第 12 回	第 18 回	9 月 13 日 (金)	オンライン
第 13 回	第 19 回	10 月 4 日 (金)	オンライン
第 14 回	第 20 回	10 月 15 日 (火)	オンライン
第 15 回	第 21 回	10 月 31 日 (木)	オンライン
第 16 回	第 22 回	11 月 12 日 (火)	オンライン
第 17 回	第 23 回	11 月 28 日 (木)	オンライン
第 18 回	第 24 回	12 月 28 日 (土)	オンライン

(7) 会員拡大および会員サービスの充実

①「顧客・支援者データベース」の活用

各種事業についての案内を該当する顧客を検索し、適宜 E メールにより周知した。

②会員拡大に関する取り組み

- ・ ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、入会の案内を行った。
- ・ 入会のインセンティブとしての割引等を、研究集会や検定、研修申込の際に案内した。

2024 年度末の会員数

種別	数	計
正会員	300	398
準会員	10	
賛助会員 (個人)	80	
賛助会員 (団体)	8	

年度末の会員数は 398 人。ここ数年は会員の減少傾向がみられる。研修などオンラインでのプログラムが多く、画面を通して入会を呼びかけたが効果はあがらなかった。

③会費納入率の向上への取り組み

2 月に新年度の会員継続と会費納入を依頼するダイレクト E メールを送り、4 月の広報紙発送の際には未納者への納入依頼文書を同封した。以降、8 月と 12 月の広報紙発送時にも依頼文書を送付した。11 月～12 月には運営委員が分担し、E メールやメッセージなど各自の顔見知りの会員に対し会員継続と会費納入をお願いした。

(8) 事務局運営の充実

①事務局常勤スタッフの採用

3 月はじめに常勤職員より退職の意向があり、3 月末での退職を承認した。これに伴い新規の職員募集を行い、7 月 1 日付で常勤職員 (嘱託) を採用した。

②事務局担当理事の設置とスーパービジョンの実施

職員の試用期間が明け、および年度末の契約更新に際して勤務状況を報告し、アドバイスをもらった。

③ボランティアコーディネーションに関わる拠点機能の強化

ボランティアコーディネーターに役立つ書籍を収集した。

(9) 財源の確保

①会費収入の拡大

年度が変わり、会員継続と会費納入のお願いをメールで一斉に行った。また、広報紙を送付する際には会費未納者に対する依頼を文書で行った。

②事業収益の拡大

案内チラシの送付、関係団体のメルマガへの発信、メールやメッセージによる個別のPRなど、研修や検定の周知、講師派遣先の開拓を行った。

③寄付者の拡大

12月に会員に対し、コーディネーターみらい募金およびU-30応援募金への寄付を呼びかけた。

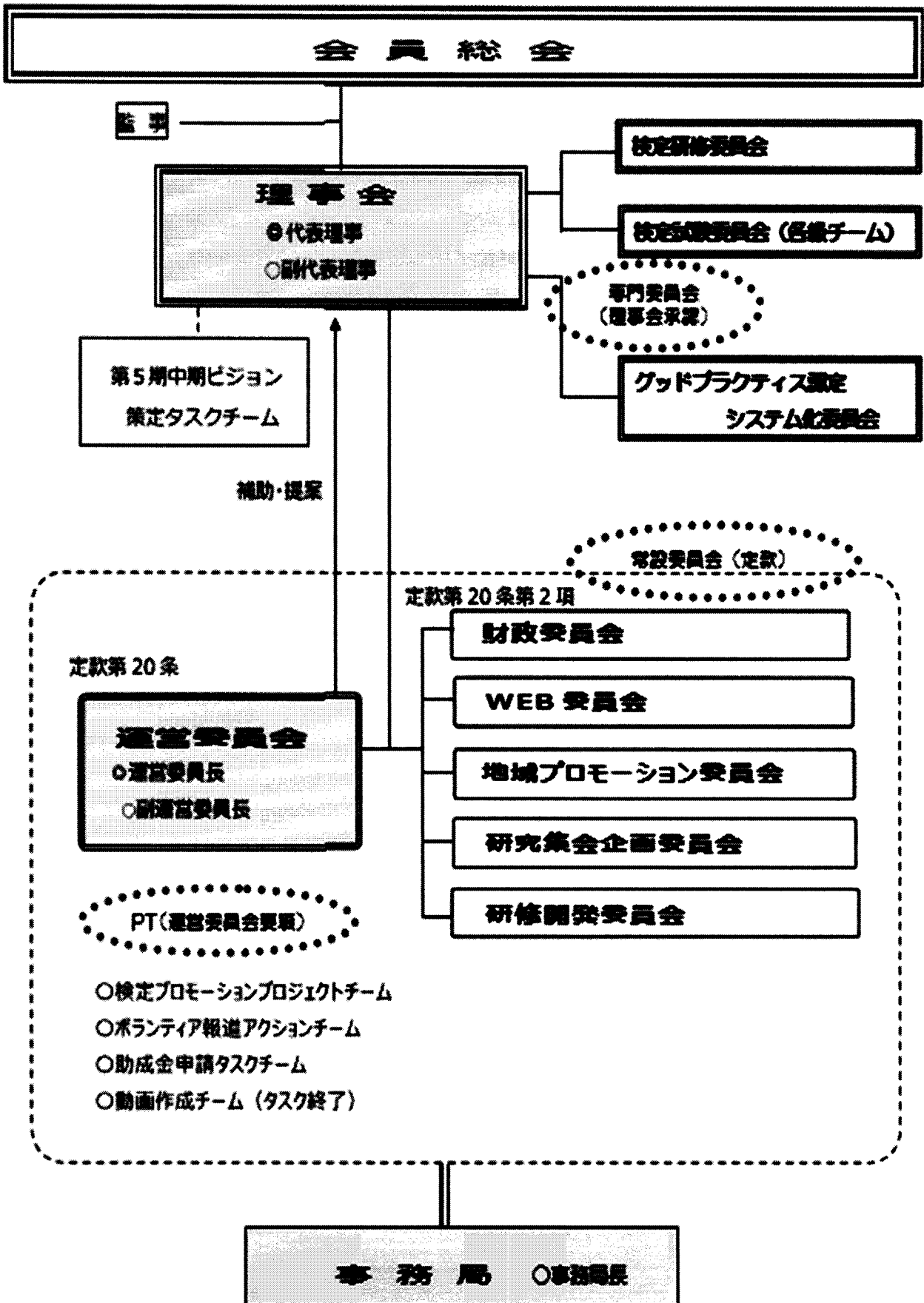
④助成金、委託事業などの活用

今後の事業展開に活用できる研究や活動に対する助成金等の情報を収集し、タスクチームを結成して事業内容を検討したうえで、丸紅基金へ申請したが不採択だった。

⑤「おサイフ通信」の発行

JVCAおサイフ通信 第18号(2024年12月10日刊)を発行し、今期の財政状況報告と年末寄付の呼びかけを会員メーリングリストで行った。

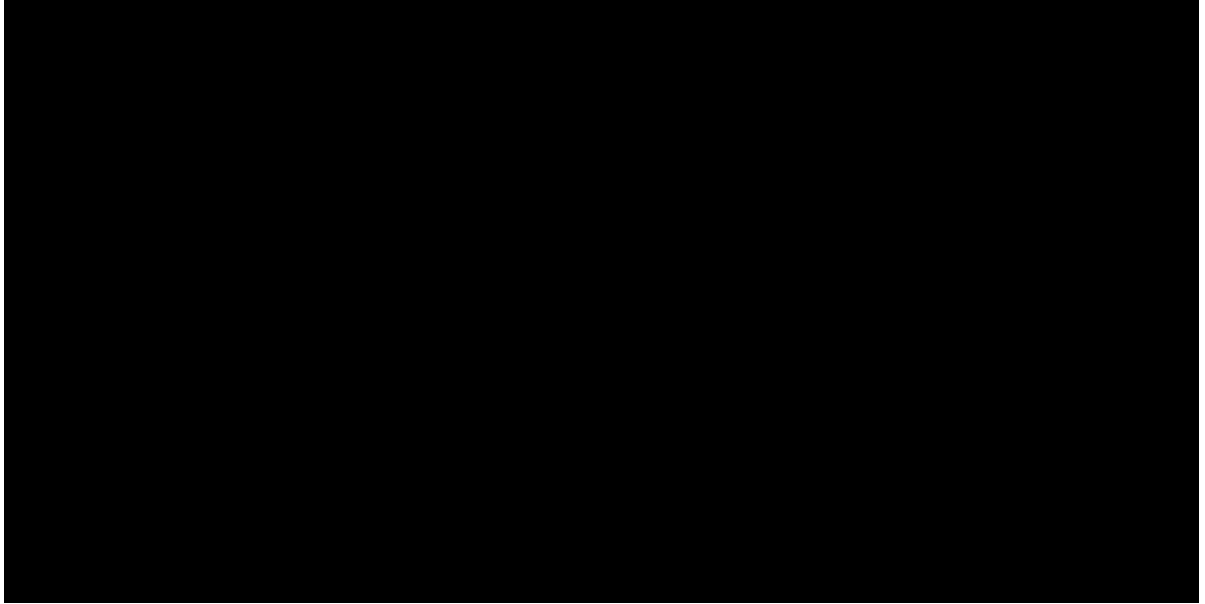
2024年度 日本ボランティアコーディネーター協会 組織図



◆・◆・ 寄 附 者 名 簿 ・◆・◆

※敬称略で失礼します

＜コーディネーターみらい募金＞＜U-30 応援募金（若いコーディネーターへの2級検定の
研修費補助）＞にご協力いただいたみなさまに心より御礼を申し上げます



決 算 報 告 書

第 24 期

自 2024年 1月 1日

至 2024年12月31日

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

東京都新宿区神楽坂2丁目13
末よしビル別館30D

活動計算書

[税込] (単位:円)

日本ボランティアコーディネーター協会

自 2024年 1月 1日 至 2024年12月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	2,710,000		
準会員受取会費	30,000		
賛助会員受取会費(個人)	234,000		
賛助会員受取会費(団体)	80,000	3,054,000	
【受取寄付金】			
寄付金(一般)	611,153		
寄付金(指定)	70,000	681,153	
【事業収益】			
全国VCo研究集会事業収益	1,608,500		
研修・講師派遣事業収益	5,881,576		
検定システム事業収益	6,361,820		
出版事業収益	1,064,943		
その他事業収益	2,700	14,919,539	
【その他収益】			
受取利息	212		
雑収益	160	372	
経常収益計			18,655,064
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
役員報酬	0		
職員給料手当(事業)	6,336,785		
法定福利費(事業)	1,143,611		
人件費計	7,480,396		
(その他経費)			
売上原価	817,292		
懇親会費	152,670		
図書資料収集費	4,070		
広報宣伝費(事業)	126,300		
業務委託費(事業)	200,000		
諸謝金(事業)	3,081,248		
印刷製本費(事業)	451,491		
食糧費(事業)	4,404		
旅費交通費(事業)	434,863		
通信運搬費(事業)	449,453		
消耗品費(事業)	86,950		
賃借料(事業)	424,460		
諸会費(事業)	25,000		
支払手数料(事業)	210		
検定料助成支出(事業)	30,000		
雑費(事業)	103,660		
その他経費計	6,392,071		
事業費計		13,872,467	
【管理費】			
(人件費)			
役員報酬	0		
職員給料手当	865,014		
臨時雇員費	1,730,250		
法定福利費	100,198		
福利厚生費	45,430		
人件費計	2,740,892		
(その他経費)			
会議費	67,443		
旅費交通費	43,863		
通信運搬費	212,211		
消耗品費	95,675		
修繕費	25,300		
水道光熱費	121,043		
賃借料	1,716,000		
保険料	16,550		
租税公課	341,400		
クレジット決済手数料	175,475		
雑費	39,110		
その他経費計	2,854,070		
管理費計		5,594,962	
経常費用計			19,467,429
当期経常増減額			△ 812,365
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 812,365
当期正味財産増減額			△ 812,365
前期繰越正味財産額			18,400,607
次期繰越正味財産額			17,588,242

貸借対照表

日本ボランティアコーディネーター協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2024年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	746,591
小口 現金	19,681	前 受 金	442,900
振替預金(ゆうちょ銀行)	7,857,532	預 り 金	431,154
普通預金(三菱UFJ銀行原宿)	1,360,671	流動負債 計	1,620,645
普通預金(みずほ銀行)	378,538	負債合計	1,620,645
普通預金(三井住友)	101	正 味 財 産 の 部	
普通預金(三菱UFJ銀行神田)	192,500	【正味財産】	
現金・預金 計	9,809,023	前期繰越正味財産額	18,400,607
(売上債権)		当期正味財産増減額	△ 812,365
未 収 金	1,676,543	正味財産 計	17,588,242
売上債権 計	1,676,543	正味財産合計	17,588,242
(棚卸資産)			
販売用資産	107,980		
棚卸資産 計	107,980		
(その他流動資産)			
前払 費用	225,340		
その他流動資産 計	225,340		
流動資産合計	11,818,886		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	1		
有形固定資産 計	1		
(投資その他の資産)			
敷 金	390,000		
特定資産 新規事業開発	2,000,000		
特定資産 緊急災害等対応	5,000,000		
投資その他の資産 計	7,390,000		
固定資産合計	7,390,001		
資産合計	19,208,887	負債及び正味財産合計	19,208,887

財務諸表の注記

日本ボランティアコーディネーター協会

2024年12月31日 現在

【重要な会計方針】
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

2024年度からクレジット決済による賛助会員（個人）及び寄附金の受領日を、内閣府の公式見解の変更に伴い決済日に変更しました。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による
- (2). 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産：定額法
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっています。

【事業費の内訳】
事業費の区分は別紙の通りです。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込]（単位：円）

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
特定資産 新規事業開発	2,000,000	0	0	2,000,000	ボランティアコーディネーション力検定などの専門性確立のために行う新規事業開発を目的とした特定資金
特定資産 緊急災害対策等対応	5,000,000	0	0	5,000,000	地震、津波、洪水などの自然災害発生時に、緊急に対策が必要になった際に利用することを目的とした特定資金
検定システム事業費	148,358	70,000	30,000	188,358	アンダー30応援プログラム実施のための寄付金で、30歳以下の方がボランティアコーディネーション力検定2級を受験する際に使用する資金
合計	7,148,358	70,000	30,000	7,188,358	

【固定資産の増減内訳】

[税込]（単位：円）

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
什器 備品	283,500	0	0	283,500	△ 283,499	1
合計	283,500	0	0	283,500	△ 283,499	1

【役員及びその近親者との取引の内容】
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込]（単位：円）

科目	経理職以外に計上された金額	内、役員との取引	内、役員等及び近親者等との取引
(活動計算書)			
業務委託費（事業）	200,000	100,000	0
活動計算書計	200,000	100,000	0

事業別損益の状況（別紙）

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

2024年12月31日 現在

[税込] (単位：円)

勘定科目	(1) ボランティアコーディネーター研究集会の開催	(2) ボランティアコーディネーターの講習および研修の実施		(3) ボランティアコーディネーション力 検定事業	(4) 情報収集および提供	(5) 出版物の発行	(6) 調査研究	(7) 交流の促進	(8) その他事業 (20周年記念事業)	事業部門計	管理部門	合計
	2024年2月集会	主催講座事業	講師派遣事業									
【経常収益】												
【受取会費】												
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,710,000	2,710,000
準会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,000	30,000
賛助会員受取会費(個人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	234,000	234,000
賛助会員受取会費(団体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80,000	80,000
受取会費 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,054,000	3,054,000
【受取寄付金】												
寄付金（一般）	0	0	0	0	200,000	100,000	100,000	0	0	400,000	211,153	611,153
寄付金（指定）	0	0	0	70,000	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
受取寄付金 計	0	0	0	70,000	200,000	100,000	100,000	0	0	470,000	211,153	681,153
【事業収益】												
全国VCo研究集会事業収益	1,608,500	0	0	0	0	0	0	0	0	1,608,500	0	1,608,500
研修・講師派遣事業収益	0	961,290	4,920,286	0	0	0	0	0	0	5,881,576	0	5,881,576
検定システム事業収益	0	0	0	6,361,820	0	0	0	0	0	6,361,820	0	6,361,820
出版事業収益	0	0	0	0	0	1,064,943	0	0	0	1,064,943	0	1,064,943
20周年記念事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	2,700	2,700	0	2,700
事業収益 計	1,608,500	961,290	4,920,286	6,361,820	0	1,064,943	0	0	2,700	14,919,539	0	14,919,539
【その他収益】												
受取 利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	212	212
雑 収 益	160	0	0	0	0	0	0	0	0	160	0	160
その他収益 計	160	0	0	0	0	0	0	0	0	160	212	372
経常収益 計	1,608,660	961,290	4,920,286	6,431,820	200,000	1,164,943	100,000	0	2,700	15,389,699	3,265,365	18,655,064
【経常費用】												
【人件費】												
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当（職員）	373,013	373,012	746,025	3,725,697	373,013	373,013	186,506	186,506	0	6,336,785	865,014	7,201,799
臨時雇員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,730,250	1,730,250
法定福利費	73,173	73,173	146,346	631,399	73,173	73,173	36,587	36,587	0	1,143,611	100,198	1,243,809
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45,430	45,430
人件費計	446,186	446,185	892,371	4,357,096	446,186	446,186	223,093	223,093	0	7,480,396	2,740,892	10,221,288
【その他の経費】												
売上原価（出版書籍、検定テキスト費用）	0	0	0	0	0	817,292	0	0	0	817,292	0	817,292
懇親会費	152,670	0	0	0	0	0	0	0	0	152,670	0	152,670
図書資料収束費	0	0	0	0	4,070	0	0	0	0	4,070	0	4,070
広報宣伝費	0	0	0	0	125,200	0	0	1,100	0	126,300	0	126,300
業務委託費	100,000	0	0	100,000	0	0	0	0	0	200,000	0	200,000
諸謝金	429,883	35,056	1,863,369	0	0	0	0	0	0	2,328,308	0	2,328,308
印刷製本費	113,687	8,690	2,510	752,940	0	0	0	0	0	877,827	0	877,827
外注費	0	0	0	326,604	0	0	0	0	0	326,604	0	326,604
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67,443	67,443
食糧費	4,404	0	0	0	0	0	0	0	0	4,404	0	4,404
旅費交通費	160,494	10,000	0	236,240	0	0	0	28,129	0	434,863	43,863	478,726
通信運搬費	121,355	15,120	6,172	306,586	0	220	0	0	0	449,453	212,211	661,664
消耗品費	22,940	2,530	3,340	58,140	0	0	0	0	0	86,950	95,675	182,625
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,300	25,300
賃借料	161,000	0	0	263,460	0	0	0	0	0	424,460	1,716,000	2,140,460
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	121,043	121,043
保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,550	16,550
諸会費	0	0	0	0	0	0	0	25,000	0	25,000	0	25,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	341,400	341,400
検定助成支出	0	0	0	30,000	0	0	0	0	0	30,000	0	30,000
クレジット決済手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	175,475	175,475
支払手数料（オンライン開催分）	0	210	0	0	0	0	0	0	0	210	0	210
雑費	23,388	8,912	21,170	46,120	880	1,540	0	1,650	0	103,660	39,110	142,770
その他経費計	1,289,821	80,518	1,896,561	2,120,090	130,150	819,052	0	55,879	0	6,392,071	2,854,070	9,246,141
経常費用計	1,736,007	526,703	2,788,932	6,477,186	576,336	1,265,238	223,093	278,972	0	13,872,467	5,594,962	19,467,429
当期正味財産増減額	-127,347	434,587	2,131,354	-45,366	-376,336	-100,295	-123,093	-278,972	2,700	1,517,232	-2,329,597	-812,365

財 産 目 録

日本ボランティアコーディネーター協会
全事業所

[税込] (単位: 円)
2024年12月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)	
小口 現金	19,681
振替預金 (ゆうちょ銀行)	7,857,532
普通預金 (三菱UFJ銀行原宿)	1,360,671
普通預金 (みずほ)	378,538
普通預金 (三井住友)	101
普通預金 (三菱UFJ銀行神田)	192,500
現金・預金 計	9,809,023
(売上債権)	
未 収 金	1,676,543
講師派遣事業未収 (講師派遣料 7件)	(604,000)
検定事業未収 (共催検定費用 2件)	(659,600)
その他の未収金 (クレジット決済など)	(412,943)
売上債権 計	1,676,543
(棚卸資産)	
販売用資産 (販売資産書籍在庫残高)	107,980
棚卸資産 計	107,980
(その他流動資産)	
前払 費用	225,340
JVCC2025費用	(82,340)
2024年1月事務所家賃	(143,000)
その他流動資産 計	225,340
流動資産合計	11,818,886

【固定資産】

(有形固定資産)	
什器 備品	1
有形固定資産 計	1
(投資その他の資産)	
敷 金 支払日: 2006年 3月28日 (繰末よし) 210,000円	390,000
2011年10月19日 (繰末よし) 180,000円	
特定資産 新規事業開発	2,000,000
特定資産 緊急災害等対応	5,000,000
投資その他の資産 計	7,390,000
固定資産合計	7,390,001
資産の部 合計	19,022,987

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	746,591
給与報酬未払金 (非常勤12月分給与・講師12月報酬)	(181,777)
法定福利未払金 (社会保険料11月・12月・賞与分)	(510,333)
通信運搬未払金 (ヤマト運輸支払11月・12月分)	(31,712)
消耗品未払金 (アスクル12月分)	(19,049)
水道光熱未払金 (水道料金11月・12月分)	(3,720)
前 受 金	442,900
正会員費 (23名)	(230,000)
準会員費 (1名)	(5,000)
賛助会員費 (個人) (4名)	(12,000)
賛助会員費 (団体) (1団体)	(10,000)
JVCC2025参加費	(166,100)
JVCC2025交流会費	(19,800)
預 り 金	431,154
源泉所得税 (職員7月～12月分)	(90,188)
講師源泉 (講師派遣謝金)	(64,081)
住民税 (職員12月分)	(15,300)
受託図書販売預かり分	(168,681)
その他一時預かり金	(92,904)
流動負債 計	1,620,645
負債の部 合計	1,620,645

正味財産

17,588,242

令和6年度 年間役員名簿

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

役名	氏 名		就任期間	報酬を受けた期間
理事	アカザワ キョウタカ 赤澤 清孝		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	アベ ヨウイチロウ 阿部 陽一郎		令和6年1月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	オカ ヒデカズ 岡 秀和		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	オハラ ソウイチ 小原 宗一		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	カワナカ ダイスケ 川中 大輔		令和6年1月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	クリキ リョウ 栗木 里栄 (梨衣)		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	サトウ タクミ 佐藤 匠		令和6年1月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	シバタ マリコ 柴田 麻理子 (後藤)		令和6年1月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	ツチダ クニ子 土田 恭仁子		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	ツツイ ノリ子 筒井 乃り子		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	ハヤシ ノボル 早瀬 昇		令和6年1月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	ヒラタ タカユキ 平田 隆之		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	フルイチ コズエ 古市 こずえ		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	マエダ マサヒロ 前田 昌宏		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
理事	ウタス マリ 宇田須 万理 (矢島)		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし
監事	イケダ ユキナリ 池田 幸也		令和6年1月1日～ 令和6年12月31日	なし
監事	オオクボ トキエ 大久保 朝江		令和6年4月1日～ 令和6年12月31日	なし

社員のうち10人以上の者の名簿
2024年12月31日現在

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会

No.	氏名	
1	青山 織衣	
2	上田 英司	
3	栗原 穂子	
4	柴田 健次	
5	鹿住 貴之	
6	武藤 祐子	
7	三田 響子	
8	唐木 理恵子	
9	須藤 美智子	
10	加留部 貴行	

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会

2024年度 監査報告書

特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

代表理事 栗木梨衣様

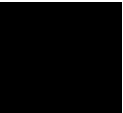
私たち監事は、特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会の
2024年1月1日から2024年12月31日までの事業年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査しました。

特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会より提出された

- (1) 2024年度 事業報告書
- (2) 2024年度 活動計算書
- (3) 2024年度 貸借対照表
- (4) 2024年度 財産目録

を監査した結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する重大な
事実はなく、NPO法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されている
ものと認められました。

2025年 1月31日

監事 池田 幸也 

監事 大久保 朝江 